

市制施行40周年

広報



あくね

阿久根特産
あくね
うまいね
自然だね

第554号



平成5年

3月号

「昔はチョロツジョで
(お手玉)
よく遊んだねえ」

鶴川内小学校で2月20日、地区のお年寄りとのふれあい活動が開かれました。男子は打ちゴマ(デゴマ)、竹馬、女子はお手玉(チョロツジョ)やあやとりなど、昔からの遊びを大先輩から直接指導してもらいました。お年寄りからも童心に帰り、楽しいひとときを過ごしました。

3月28日(日)総合運動公園陸上競技場 12時スタート

阿久根市長旗九州選抜高校駅伝競走大会



有名高校トップランナーが阿久根に集結 (写真は昨年のももの)

春の阿久根路を駆け抜ける
ランナーに温かいご声援を！

第三回阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会が、三月二十八日、総合運動公園陸上競技場を発着点に七区間四十二・一九五キロで行われます。

今年も報徳学園(兵庫)、西協工業(兵庫)、大牟田高校(福岡)、小林高校(宮崎)など全国大会でもおなじみの学校が顔をそろえます。また、本市からは、先の県下一周駅伝大会で出水チームの主力となつて活躍した阿久根農業高校が出場します。

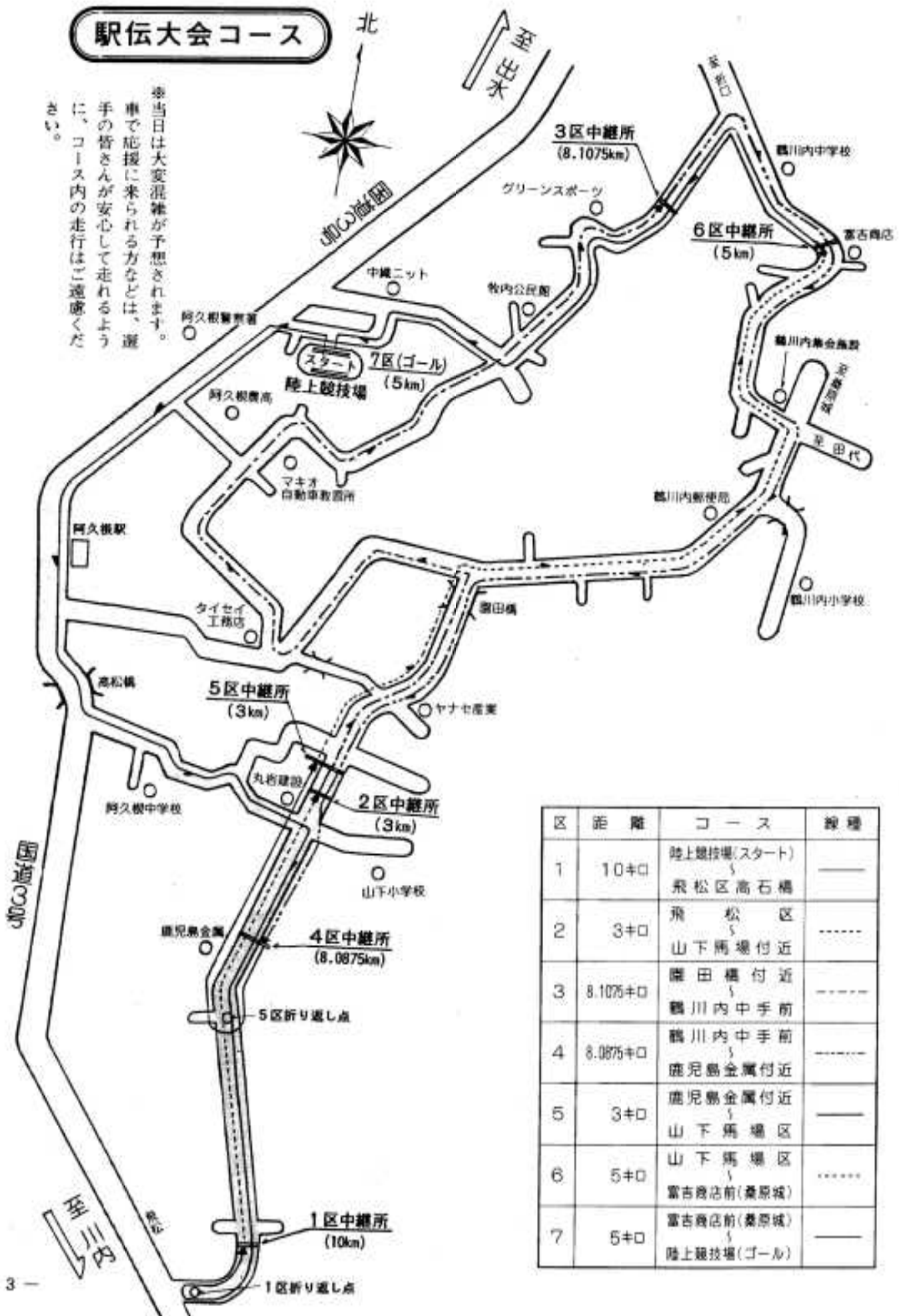
今回から、広域農道を使い一部コースを変更。起伏に富んだコースで、各選手がどのような走りを見せてくれるのかも楽しみます。全チームとも、今年活躍が期待される一、二年生が出走。その意味からも、本大会は今年の高校駅伝界を占う前哨戦とも言えます。陸上競技場を十二時にスタート。市民の皆さんの温かいご声援をよろしく願います。

出場高校

福岡県	大牟田高等学校 九州国際大学付属高校
佐賀県	鳥栖工業高等学校 白石高等学校
長崎県	西海学園高等学校
大分県	鶴崎工業高等学校 大分東明高等学校
熊本県	九州学院高等学校 鎮西高等学校
宮崎県	小林高等学校
兵庫県	西協工業高等学校 報徳学園高等学校
鹿児島県	鹿児島商工高等学校 鹿児島実業高等学校 れいめい高等学校 阿久根農業高等学校

駅伝大会コース

※当日は大変混雑が予想されます。
車で応援に来られる方などは、選
手の皆さんが安心して走れるよう
に、コース内の走行はご遠慮くだ
さい。



区	距離	コース	線種
1	10キロ	陸上競技場(スタート) ↓ 飛松区高石橋	——
2	3キロ	飛松区 ↓ 山下馬場付近	-----
3	8.1075キロ	藤田橋付近 ↓ 鶴川内中手前	-----
4	8.0875キロ	鶴川内中手前 ↓ 鹿兒島金属付近	-----
5	3キロ	鹿兒島金属付近 ↓ 山下馬場区	——
6	5キロ	山下馬場区 ↓ 富古商店前(桑原城)	-----
7	5キロ	富古商店前(桑原城) ↓ 陸上競技場(ゴール)	——

生涯学習で豊かな人生を

シンポジウム・記念講演など―第1回生涯学習フェア

市民一人ひとりが人生全般において学習していける生涯学習社会の創造をめざし、第一回阿久根市生涯学習フェアが二月六日、市民会館大ホールで開催されました。



大会では社会教育功労者を表彰

昨年まで社会教育大会として開いていたものを発展させ、シンポジウムや記念講演をまじえながら市民の日頃の学習成果を集約するとともに、今後の生涯学習の在り方を考えようと開か

れたもので、市民約千人が参加しました。

まず、本市の社会教育の向上や伝統芸能の伝承などに尽力された一個人、二団体に表彰状が贈られたあと、市社会教育学級受講者へ修了証書が授与されました。

その後「わたしの生涯学習」というテーマで、シンポジウムがあり、各分野で活躍している五人の方が登壇し、意見が交わられました。

働く婦人の家でヨガを習っている戸高幸子さんは、その魅力と仲間と共に学ぶことのすばらしさを、社会教育学級で水墨画を習っている神之田重雄さんは、失敗を繰り返してやっと完成した時のうれしさを、社会体育代表の坂上鉄夫さんは、少年団活動の必要性和その拡充を、阿久根青年会議所の太田泰寛さんは文化活動の充実・向上が生涯学習につながるなど、それぞれその経験をもとに意見を発表しました。助言者として登壇した出水教育事務所の寺田壽徳氏は

「これまで学校教育が主で、社会教育はそれをカバーするものと受け取られてきた。しかし最近では生涯学習が市民権を得つつある。学習の場はどこにでもあり、これを自分の意志で進めるのが生涯学習である」とシンポジウムをしめくくりました。

また記念講演では、福岡学園常任理事・九州女子大学副学長の三浦清一郎氏が「変化の時代は自分流し生涯学習と豊かな人生」と題し講演。「人生が長くなれば体に頼って生きていけない。社会変化に技術や経験で対応するには生涯学習が必要である」と人生各期における学習の必要性を強調。さらに、「日本人が友をつくる方法は経験を共有する事と言われている。生涯学習のような講座や教室で机を並べた経験が、老後の友をつくり、心の支えとなる」と、生涯学習が豊かな老後を送る備えであると話されました。

最後に、「生きがいのある充実した人生をおくるため、市民

一人最低一学習運動の輪を広げ、文化の香り高いまちづくりにとりくみます」などと大会宣言を参加者全員で決議しました。

なお、表彰を受けた方々は次のとおりです。 ※敬称略

- ▼ 梶山澄良（黒之上―高齢者の社会教育振興、発展に尽力）
- ▼ 阿久根相模草取甚句保存会（浜地区―郷土芸能の保存、伝承に尽力。また本市のPRにも大きく貢献）
- ▼ 横手虚無僧踊り保存会（横手地区―昨年中学生に地区の伝統芸能を継承。地域活性化にも貢献）

「これまで学校教育が主で、社会教育はそれをカバーするものと受け取られてきた。しかし最近では生涯学習が市民権を得つつある。学習の場はどこにでもあり、これを自分の意志で進めるのが生涯学習である」とシンポジウムをしめくくりました。



活発な意見が出されたシンポジウム

来年7月の完成目指し、起工

市総合体育館



阿久根市総合体育館 完成予想図

阿久根市総合体育館の起工式が二月五日、市や市議会、工事関係者ら約五十人が出席して総合運動公園内の建設現場で行われました。

体育館は、同公園内野球場横の八千五百七十二平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート二階建て（建築面積五千六百六十平方メートル）を建設。総工費約十五億円をかけて来年七月の完成をめざしています。

一階のアリーナ（競技場）部分は二千五百五十九平方メートルで、男子用バレーコート四面、バスケットコートなら三面、バドミントンコートなら十二面が取れる広さ。さらにステージやトレーニング室、ミーティング室などもあります。

二階には固定の観客席約七百八十席を設置。また体育館内を一周する二百二十メートルの走路や卓球場（二百五十二平方メートル）も設けられています。

完成すれば、川北陸地域では最大規模の体育館となり、全国規模の大会も開催可能となります。

起工式では神事のもと、新戸勝記市長がくわ入れをするなどして、工事期間中の安全を祈りました。

「美しい郷土を守ろう」

環境美化団体など表彰

＝第24回市環境衛生大会＝



環境美化活動などに取り組む個人・団体を表彰

市環境保健課の末吉昇課長が、ゴミ問題を取り巻く状況を説明。ゴミ減量化への更なる協力と理解を求めました。

講演では内山病院院長の古郷米次郎氏が「地域医療と開業医の役割」という演題で、本市が抱える医療問題を提起。「今後、来るべき高齢化社会に対し、医療現

「健康と豊かな社会を目指して」をテーマに、第二十四回阿久根市環境衛生大会が二月二十五日、関係者約三百人が出席して市民会館大ホールで開催されました。

まず、浜崎雅大会会長が「市衛生自治会として数年前からゴミ減量化に積極的に取り組み、更に、昨年は収集用ゴミ袋の統一を行い、大きな成果をあげることができました。今後も皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。その後、市内において環境美化や公衆衛生活動に積極的に取り組んでいる、三個人、三団体を表彰しました。

また、本市の環境行政について、

- ▼個人の一部 表彰称略
木村直（弓木野区） 浦島千利（臨本浜区） 根比義夫（浦区）
- ▼団体の部
牛之浜盆栽クラブ 梅自治公民館 大川島区



静かな松林の中に建てられた「海の家」

本市の観光スポット、阿久根大島が新しく変わろうとしています。本年度中に、新しい「海の家」二棟と周辺散策路が完成、桟橋の改修も始まったほか、国の美しいむらづくり事業を導入して建設されるセンターハウスの実施設計も完了します。また今後、レストハウスの改修や砂浜の改良なども予定され、魅力ある観光地づくりが着々と進められています。

このうち「海の家」は、老朽化していたものを新たに全面改築、木造平屋建て二棟がこの夏から新たに共用開始されます。一棟当たり建築面積は百六十六、四平方、四畳半から八畳まで

海と山の特色を活かし、観光面での交流を図ろうと、阿久根市と大口市は毎年定期的に観光交流会を開催しています。十六年目の今年は大口市観光協会の一行が本市を訪れ、観光施設などを見学、両市の地域浮揚策などについて意見交換などが行われました。

樺山一雄市長をはじめとした大口市の一行二十人を含む関係者約五十人はまず、阿久根大島に渡り、本市の観光のシンボルでもある野生ジカの慰問を行いました。ミカン、バナナ、ニンジン、キャベツなどの新鮮な野菜、果物約五百を本市観光協会が提供。餌の少ない冬場とあって、シカたちはすぐに駆け寄ってきておいしそうに食べていました。また、一行は、本年度新たに改築された「海の家」などを見学、施設整備の現状などを視察しました。

大島のシカにエサをプレゼント

大島の施設整備、着々と

～魅力ある
観光地づくりを目指して～

バンガロースタイルの 「海の家」2棟完成

センターハウスは来年度着工

本市の観光スポット、阿久根大島が新しく変わろうとしています。本年度中に、新しい「海の家」二棟と周辺散策路が完成、桟橋の改修も始まったほか、国の美しいむらづくり事業を導入して建設されるセンターハウスの実施設計も完了します。また今後、レストハウスの改修や砂浜の改良なども予定され、魅力ある観光地づくりが着々と進められています。

の客室十部屋が設けられ、最大三十六人が宿泊できます。二棟ともベランダ付きのバンガロータイプに仕上げられ、松林に囲まれた静かな場所にマッチした外観となっています。総事業費

は約五千七百万円。また、散策路は約二千万円をかけて、島の西側に整備。総延長三百六十五、幅二・五メートルの緑化ブロックを使用し、景観にも配慮してあります。

一連の整備で、阿久根大島の観光に新しい顔が備わることになり、今後、本市全体の観光面への波及効果が期待されています。

導入しての、センターハウス建設は、年度内に実施設計が完了、来年度から着工されます。大島の管理事務機能を集中させるとともに、観光客の利便性を高めようとするもので、更衣室やシ

ヤワー・ロッカールーム等の建設も計画されています。老朽化した桟橋の改良も始められたほか、今後、レストハウスの改修、侵食の激しい砂浜の復旧・改良なども予定されています。

阿久根市職員の給与等について市民のいっそうのご理解をいただくため、次のとおりその状況をお知らせします。

阿久根市職員の給与等について

(7) 職員手当の状況

区分	阿久根市			国		
期末手当	・3年度支給割合			・3年度支給割合		
	6月期	1.6月分	0.6月分	6月期	1.6月分	0.6月分
	12月期	2.1月分	0.6月分	12月期	2.1月分	0.6月分
	3月期	0.55月分	一月分	3月期	0.55月分	一月分
	計	4.25月分	1.2月分	計	4.25月分	1.2月分
退職手当	・4年度支給割合			・4年度支給割合		
	支給率	自己割合	勤続・定年	支給率	自己割合	勤続・定年
退職手当	勤続 20年	21.0月分	28.575月分	勤続 20年	21.0月分	28.876月分
	勤続 25年	33.75月分	44.55月分	勤続 25年	33.75月分	44.55月分
	勤続 35年	47.5月分	62.7月分	勤続 35年	47.5月分	62.7月分
	勤続 40年	60.0月分	62.7月分	勤続 40年	60.0月分	62.7月分
	勤続 45年	62.7月分	62.7月分	勤続 45年	60.0月分	62.7月分
参考	職制上の段階、職務の範囲等による加算措置			職制上の段階、職務の範囲等による加算措置		
	有			有		
退職手当	その他の 定年前早期退職特別加算措置 2%~20%加算			その他の 定年前早期退職特別加算措置 2%~20%加算		
	退職時特別加給 2号給			退職時特別加給 1号給		

区分	全 員 種	
	職員全体に占める手当支給職員の割合	26.3%
手当	支給対象職員1人当たり平均支給年額	26,269円
	手 当 の 種 類 (手当数)	25
(3年度)	代表的な手当の名称	支給額の多い手当
	多くの職員に支給されている手当	福住事務所労務手当・清掃業務手当 水道課現場作業手当・給付手当 福祉事務所労務手当・清掃業務手当 水道課現場作業手当・給付手当

時間外勤務手当	3年度	支給総額	52,944千円
	職員1人当たり支給年額 <td>190千円</td> <td></td>	190千円	
2年度	支給総額	46,948千円	
	職員1人当たり支給年額	181千円	

区分	支給月額	国の制度との説明	国の制度と異なる内容
扶養手当	1.配偶者 16,000円	同	同
	2.配偶者以外の扶養親族のうち2人まで 75,500円		
	3.配偶者以外の職員の扶養親族のうち1人 11,000円		
	3.その他の扶養親族については1人 1,000円		
住居手当	1.住宅「家賃月額が11,000円を超える場合に限り、家賃の額に応じて33,000円を限度に支給	同	同
	2.自來1,000円・新築、購入後5年間は2,500円		
	2ヶ月未満 300円 2ヶ月以上3ヶ月未満 500円		
通勤手当	1.1号までごとに1,250円加算	異	通勤の区分が異なる
	15号以上乗車支給額20,000円		

(8) 特別職の報酬等の状況

4年4月1日現在

区分	給料月額等
給料収入役	市長 743,000円
	助役 578,000円
	収入役 540,000円
市長	332,000円
	副市長 260,000円
	議員 235,000円
期 末 収入役	・3年度支給割合
	6月期 1.6月分
	12月期 2.1月分
	3月期 0.55月分
	計 4.25月分
手 当 出 賃	・3年度支給割合
	6月期 1.6月分
	12月期 2.1月分
	3月期 0.55月分
	計 4.25月分

(4) 職員の初任給の状況

(4年4月1日現在)

区 分	阿 久 根 市		国	
	法定初任給	採用2年経過日給 料 額	初 任 給	採用2年経過日 給 料 額
一般行政職	大学卒 153,700円	167,300円	153,700円	167,300円
	高校卒 124,900円	133,800円	124,900円	133,800円
技能労務職	大学卒 -	-	-	-
	高校卒 124,900円	133,800円	-	-

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

(4年4月1日現在)

区 分	経験年数 10年	経験年数 15年	経験年数 20年
一般行政職	大学卒 - 同	-	-
	高校卒 186,300円	237,028円	292,716円
技能労務職	大学卒 -	-	-
	高校卒 -	240,700円	294,200円

注：経験年数とは、平常換算後に採用され、引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものである。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況

(4年4月1日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	日 給	計
標準的な職務内容	主事補 13 級補	主事、特別主事補 13 級補	主事、特別主事補 13 級補	主事、特別主事補 13 級補	主事、特別主事補 13 級補	係、長 主事、13 級	課長補佐等	課長等	
職員数	8人	9人	23人	9人	16人	117人	34人	28人	246人
構成比	3.3%	3.7%	9.3%	3.6%	7.3%	47.6%	13.8%	11.4%	100%
世 帯 1 年 前 の 構 成 費 用	1.6%	2.8%	10.5%	2.4%	13.4%	45.3%	11.4%	12.6%	100%
	1.3%	8.2%	6.6%	9.0%	14.8%	38.9%	3.7%	17.5%	100%

注：1. 阿久根市の給与表に基づく給料表の級区分による職員数である。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名である。

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区 分	一 般 行 政 職 (1年度末)	歳 出 A 額	実 務 費 支	人 件 費 日 費	人 件 費 率 (日/A)	人 件 費 率 率 (B/A)
3 年 度	4,331	千円	千円	千円	9%	9%
28,130人	12,727,629	175,822	2,650,267	20.8	20.8	

注：人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含む。

(2) 職員給与の状況 (普通会計予算)

区分	職員数 A	給 与 費			1人当たり給与費 (B/A)
		給 料	職 務 手 当	勤 務 手 当	
4 年 度	千円	千円	千円	千円	千円
332人	1,230,080	154,177	632,181	2,016,448	6,070

注：1. 退職手当には退職手当を含まない。
2. 給与費は当分予算

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況

(4年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
阿久根市	296,000円	40.1歳	312,500円	44.4歳
国	275,100円	38.8歳	251,200円	48.0歳
鹿児島県	286,600円	38.6歳	281,400円	42.0歳

バイオ技術を駆使

イチゴの初期育苗に成功

高農根久阿

阿久根農業高校がバイオテックノロジを駆使し、水耕栽培方式でイチゴの初期育苗実験に成功。その苗をさらに土壌鉢で育成させるため二月十八日、市農業振興センターに苗二百鉢が引き渡されました。

栽培方式は、同校で独自に考案した水耕順化システムと呼ばれるもので、冬場、冬眠状態にあるイチゴをバイオ技術を駆使

しながら無菌状態の中で目覚めさせ、温度、湿度、栄養液、照度などの生育環境を調整しながら、自然な状態での土壌栽培ができるまでに慣らし（順化）、育てるものです。

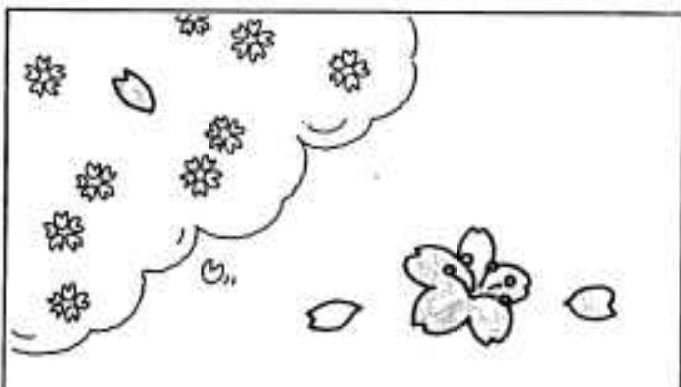
同校では昨年五月に福岡県八女市から優良苗（とよのか）を購入、組織培養で三百株まで増殖して、十二月から水耕順化システムで実験を行ってきました。

苗200鉢を市へ引き渡し

優良苗の大量生産へ道



バイオ技術を駆使し、育てられたイチゴの苗



4月4日は 緑の中でコンプレキシブ

市民いこいの森春まつり

今年も「市民いこいの森春まつり」が四月四日に開かれます。緑に囲まれ自然のおいしい空気を吸いながら、森のコンサートや丸太切り大会、木わたり大会など、多くのイベントが計画されています。

高松ダム周辺の桜並木を眺め、林道を通じて会場へ向かうと、

ヒノキ、シイ、ケヤキ、ツツジなどの緑の樹種がやさしく出迎えてくれ、さらに展望台に登ると市街地や東シナ海の大パノラマが望めます。

森林浴と絶景の「市民いこいの森」へ、親子連れで、あるいは友だち同窓、近所の方などとぜひ一緒にご来場ください。

農業経営科二年の生物工学基礎科目の一環として取り上げるとともに、農業クラブ生物工学イチゴ班の生徒六人が毎日、昼休みや放課後を利用して観察や記録を行い、研究を重ねました。

その結果、約七割が茎約十センチから十五センチまで成長、うち二百鉢を振興センターへ引き渡ししました。

同センターでは高校生らの研究成果を踏まえ、土壌鉢栽培で二千株の親株を増殖し、その後、市内の実験農家に引き渡されることになっています。早ければ今年の冬にも収穫ができるようになるという事です。

最終的に実験の成果が確認できれば、優良苗の大量生産、栽培普及の拡大、減農薬や収穫量アップにつながるものと、期待されています。

イチゴの水耕栽培は、同校農業後継者育成対策協議会（会長、新戸勝記市長）において事業導入が決定されたもので、学校、市、農協が連携をとって本市農業の振興を図ることを目的に始められました。学校が初期育苗し、市がそれを引き継ぎ、農家が栽培・出荷するという、一連のサイクルは、地域をあげての

実験となります。

この中で、最も大事なセクシオンを、先導的な取り組みで受け持ったのが地元の高校生であり、関係者からは今後の実験成果に、大きな関心と期待を寄せています。

学校で行われた引き渡し式では、農業経営科二年の大曲達也君が「農家の人たちに大事に栽培してもらい、早く消費者の手に届けば」と話し、新戸勝記市長にイチゴの苗が手渡されました。

県下一周駅伝

出水チーム躍進7位

若い力が着実に成長

第四十回県下一周駅伝競走大会が二月十三日から十七日までの五日間にわたり開かれ、出水チームは昨年より一つ順位を上げ、総合七位の成績を収めました。これは第二十二回大会の四位以来、十八年ぶりの高い成績です。

今年も高校勢を中心に布陣を敷いた出水チームは、他のチームのタイムが伸び悩むなか、唯

一累計タイムを二分二十八秒短縮し、躍進賞を獲得。また、大会二日目の四区では阿久根農高二年の中村一志君が区間新記録で快走し、一気に三人をこぼろ抜きしてみせるなど、若い力の著実な成長が目立ちました。大会中、選手らは郷土の期待を一身に受けて力走し、それに応えるだけの成績と素晴らしい走りを見せてくれました。

本市関係で出走した選手は次のとおりです。

氏名(年齢) 所属

- 福元 力(26) 阿久根ゼンテック
- 奥平 徳和(35) 出水工務店
- 寺園 隆志(25) 阿久根ゼンテック
- 大下本 護(25) 阿久根市役所
- 鍋石 豊和(20) 出水工務店
- 村野 忠昭(20) 第一工業大
- 落 順一(20) 京セラ川内
- 花田 伸幸(19) 阿久根市役所
- 立花 和紀(18) 阿久根農高3年
- 西田 武史(18) *
- 和田 真二(18) *
- 竹中 亮(18) *
- 湯田 博己(18) *
- 中村 一志(17) 阿久根農高2年
- 白倉 二郎(17) *
- 新村慶治郎(17) *
- 大迫 俊也(17) *
- 山中 龍也(16) 阿久根農高1年

▲市役所前で行われた壮行会

2日朝4区で区間新をマークした中村一志選手(左)

写真提供：南日本新聞社



卒業記念に

親子でマラソンリレー

—阿久根農高陸上部—



リレーでトラックを105周

阿久根農高陸上部の父母の会が二月二十一日、三年生の卒業の思い出にと親子でリレーして四十二・一九五キロを走りとおす送別リレーマラソン大会を総合運動公園陸上競技場で開きました。

県下一周駅伝大会を始め各種大会において好成績を納めてきた同部ですが、これまでの厳しい練習や合宿を振り返るとともに、三年間生徒を支えてきた家族と高校時代の良き思い出づくりを行おうと、初めて開催したものです。部員三十人とその家族約二十人が参加しました。

一、二年生チームと三年生チームにそれぞれ父母が加わり二チームで競走。準備運動の後、

午後二時半すぎ、四百メートルで百五周と百九十五キロをリレーする送別リレーが始まりました。

タスキをバトンがわりに、生徒は一人四百メートル、二百メートルを受け持ち、次々にリレー。生徒らの軽やかな走りに対し、父母らのきつく重い走りが、観客の笑いと声援を誘いました。風が強く吹く中でしたが、参加者は寒さも忘れて快走し、二チームとも二時間を切る一時間五十七分台の好タイムでゴールしました。

三年生にとっては、これが高校時代最後の走り納めとなり、父母らとともに楽しい卒業記念となりました。

アルバム



Q31211 内線 1214

文化講演会 常田富士男のあったかい



独特な語り口が聴衆の心をなごませました

テレビ「まんが日本昔ばなし」の語り役でおなじみの常田富士男さんを迎えて二月二十八日、市中央公民館大ホールで文化講演会が開かれました。常田さんの独特な語り口と素敵な朗読が、詰め掛けた市民約千百人をふっくらと心温まる世界へいざないました。

常田さんは長野県出身で現在の在り方としては、三世大家族を朗読。絶妙な語りで登場人物の感情をうまく表現し、家族本来の在り方としては、三世大家族

素敵な朗読で観客を魅了

常田富士男さんを迎え文化講演会

が理想ではないか」と、物語から考えさせられる現代社会の問題を、聞き手の心に静かに問いかけました。

また、自分の経験や仕事を通して感じていることを、笑いを交えながら講演。子供は、早い時期に大人として見てやっただ方がいい。宝である子供たちを守るためにも、大人は今の生活を直さなければならぬのでは」と、話されました。

ステージには菜の花が添えられ、穏やかな春の目を演出。常田さんのあったかい人間性が、そのまま伝わってくる楽しい講演に、参加者は聞き入っていました。



会場には多くの市民が詰めかけました

田淵初喜さん(寺山区)が優勝

—市老人囲碁大会—

仲間づくりを目的に市老人囲碁大会が2月15日、市老人福祉センターで開かれました。

囲碁好きのお年寄り17人が参加。2つのブロックに別れて予選リーグが行われた後、決勝トーナメントで優勝を争いました。集中力が勝負の決め手とあって、碁盤に向かう参加者の表情は真剣そのもの。ピシッという石を打つ歯切れの良い音が、会場内に響きわたっていました。

1位—田淵初喜さん(寺山) 2位—角春徳さん(高松) 3位—貴島善内さん(横手)



193点の力作を展示

—第2回高齢者創作文化展—

阿久根ロータリークラブ主催による第2回高齢者創作文化展が2月28日、市民体育館で開かれました。高齢者に作品の発表の場を提供し、生きがいと仲間づくりを図ってもらうのが目的。今年は市内の60歳以上の方々が、日頃の趣味や学習を通して完成させた、絵画や書道、水墨画、竹細工、手作り人形などの作品193点が展示されました。丁寧に仕上げられた力作ばかりで、訪れた人も熱心に見入っていました。





“立志”の記念に 23.4キロを夜間歩行

—鶴川内中2年—

みんな



行事・催し物など
お寄せ下さい。

鶴川内中の二年生らが二月六日、立志の記念にと二十三キロの夜道を歩き通す夜間歩行に挑戦しました。

思い出づくりと生徒たちの自信につながればと、PTAが中心となって昨年からの夜間歩行を実施。今回、初めて市外まで足を延ばしました。

二年生十七人を含め、父母や職員など約五十人が参加。日が暮れて、辺りが暗くなった午後六時すぎに学校を出発。横断幕を先頭に列をつくり、高尾野町の紫尾神社を目指しました。

この日は風がつよく、寒い夜

となりましたが、生徒たちは全く苦にもせず、往復二十三・四キロという道のりを最後まで笑顔で歩きとおしました。

横断幕を先頭に元気に歩く生徒たち

出発してから約六時間後の午前零時前に全員無事に学校に着。生徒たちは父母らが見守る中、たさつま汁で体を暖め、互いの健闘を讃え合っていました。

介護技術を講習

福祉入門教室

寝たきりの高齢者や重度の障害者を家庭において介護する場合の注意点や介護用品の紹介などを行う集いが二月五日、市老人福祉センターで開かれました。

従来まで「介護者のつらい」として聞いていたものを、今回は一般の人を対象に介護知識を得てもらおうと、「福祉入門教室及びねたきり介護者のつらい」として開催。自宅で家族を介護している方や婦人会、ボランティア



実演をとおして介護のポイントを説明

ケア関係者ら約百二十名が参加しました。午前の講演に引き続き、午後からは老人ホームの寮母さんら

による、介護方法の講習がありました。ベッドでのシーツの簡単な変え方、床ずれを予防する工夫等、実際に人を寝かせ分かりやすく実演がなされました。また、オムツや寝具などの介護用品の紹介も行われ、参加者は実際に触ったり質問をしたりするなど、真剣に説明を聞いていました。

また当日は、在宅介護者二百名を対象に行ったアンケートが紹介され、その中で、介護においては女性の負担が大きく、常に目が離せない現状が報告されました。

駐在所「黒之瀬戸」が特選

地域の話題に評価

黒之浜駐在所が毎月発行しているミニ広報紙が、平成四年度の県下警察広報コンクールの派出所・駐在所広報紙の部で特選を受賞しました。

同駐在所勤務の大山秀樹巡査(33)が編集から印刷まで一人で担当する広報紙「黒之瀬戸」は、B4版で単色刷り一枚。毎月一回、管轄世帯数の約八百部を発行しています。

コンクールには、県内二十八署から合計五十六の広報紙が出

黒之浜駐在所



広報「黒之瀬戸」で特選を受賞した大山巡査

て読んでもらう工夫を重ねています。大山巡査は「巡回連絡のとき、広報紙の批評を聞けるとうれい。お年寄りも多いので字を大きくし読みやすくしたい」と、広報紙の充実には意欲を燃やしています。



楽しく且つ厳しく 「阿久根サッカークラブ」

我々、阿久根サッカークラブは平成二年に結成され、翌年、県サッカー協会に加盟し、北薩リーグに出場しました。この年は、ふがいない成績に終わったものの、昨年は準優勝と目覚ましい成長を遂げています。現在、県の二部リーグですが、一部昇格は時間の問題でしょう。部員は二十二名で、ほとんど

がサッカー経験者ですが、クラブのモットー「楽しく且つ厳しく」にもある通り、勝つ事だけにこだわった、ガチガチ頭の集団じゃありません。結果はおのずとついてくるものです。従って、初心者なものがサッカーをやりたい……そんなあなたにもってこいのチームです。もちろん、やる気は必要です。また、



経験者で、ちよつとサッカーから遠ざかっていた方、心配ありません。一ヵ月で元通りプレーができます。同時にマネージャーも募集しています。書類選考、面接、一切ありません。興味のある方は、毎週水曜日、夜七時より市陸上競技場にいられたし。

代表者 倉津正文

郷土資料館の展示資料紹介

箱

はこせん・ぜんばこ・おせんばとも呼ばれ、ちやぶ台が普及するころまでは、町家でも農家でもお膳として、どこでも用いられていました。

奉公人などが食器を入れておく箱としては、戦前まで使用されてきたようです。食事の時、蓋を裏返して中の食器を並べると、一人用のお膳となります。薄い漆塗りで、引き出しがついた手箱のようです。引き出しのついていないものもあり、型は木製で長方形、四方形などでした。長い間大事に使った箱膳は、つやが出て、なんともいえない重味があります。

ゆつくりと食事のできない早飯食いが、まかり通っていた頃は、たいてい洗わないでお茶や白湯などですすぎ、食器は箱の中に始末しました。衛生的とはいえませんが、今のように入道があつていつでも自由に水が使

膳

えなかつた昔は、水を大切に使用しました。井戸から桶に水を入れ、炊事場の水がめまで運ぶのも大変でした。昔はみんなの家に井戸はなく、共同で使っていました。

箱膳の食器はそれぞれ決まったもので、他の人を使うことはなく、洗わないでしまつても気にしなかつたようですが、でも月に二・三度は洗つたようです。



46

ご協力ありがとうございました

イワシの
ふるさと便 目標上回る4万1千箱を発送



バンサイをして発送終了を喜ぶ関係者

「全国へ届け、阿久根のイワシ」 食卓へ新鮮なイワシをお届けするイワシのふるさと便も、3月4日に最終便を発送し、無事終了することができました。

7年目を迎えた今年は、目標個数を3万7千箱に設定。期間中、天候などの関係で発送が遅れ、大変ご迷惑をおかけしましたが、これまでの継続的な取り組みによりイワシのイメージが定着してか、目標を上回る注文をいただき、約4万1千箱を全国に発送することができました。これも、市民の皆様のご協力のおかげと、関係者一同大変感謝しているところです。

今後とも、ふるさと阿久根の活性化のために、いろいろなアイデアや意見等の提言も含め、ご協力くださるようお願いいたします。

友だちの輪 ⑦〇



高松区
浦真理子さん (24)

- 趣味 お菓子づくり
- 好きな言葉 素直
- 理想のタイプ 好きになった人が理想のタイプ
- 思い出 これからステキな思い出を作りたいです。
- 何か一言 母へ、これからの人生を楽しんで下さいネ。

※次の友だちを紹介してください。

下村区の外園美穂子さん。

次はあなたの出番です。

今月の新着図書

図書館だより



- ▼高樹のお子「湖底の森」▼松本清張「隠花平原」▼上坂冬子「硫黄島いまだ玉砕せず」▼筒井康隆「最後の伝令」▼村田喜代子「花野」▼若竹七海「閉ざされた夏」▼奇妙な昼さがり▼北方謙三「遠く空は晴れても」▼赤川次郎「シングル」▼高杉良「濁流」▼立花隆「電腦進化論」▼エン・チアン「ワイルド・スワン」▼三好徹「政商伝」▼吉村正一郎「西鶴人情橋」▼東直己「バーにかかっていた電話」▼常盤新平「頬をつたう涙」▼軒上泊「憂愁海岸」▼ピル・クリントン「アメリカ再生のシナリオ」▼加賀乙彦「私の好きな長編小説」▼本間類「真冬の誘拐者」▼小池真理子「夜ごとの闇の奥底で」▼折原一「異人たちの館」▼三枝和子「響子悪戯」▼雨のなか

阿久根短歌会

新港に鯛の多く獲れたるか五十数羽の鶯の群飛ぶ

新町 遠矢 律

底しれず水をたたふる摩周湖の息吐く如き霧絶ゆるなし

琴平 川畑 スミ

雪しまく峠の道を越へしより霞まじりの音強くなる

赤瀬川 海平 三藏

帯を解き白足袋ぬぎし時のまに放たれしごと体のゆるぶ

新町 竹下百合子

灯をつけぬこのたそがれの花明り白梅にほふ庭に亡母顯つ

臨本 宮原 範子

若き等の仲に交りて弓始射忘れて的前に立つ

赤瀬川 新坂 邦

鶏のいくつ啼きつつ移る声聞こゆ午前三時の病棟しずか

赤瀬川 築瀬 紀夫

軒に吊るす切干人参色褪せて老いゆく日々のわれにかも似ん

臨本 赤崎 タエ

今はぬぬ犬の名呼びてはかなけれ昨日に続く今日が始まる

大丸 橋崎 幸

この夜半に窓をたたける風の音一人居の友は淋しがるらん

臨本 土田美香子

誕生

おめでとう



※敬称略

出生児 保護者(区名)
 上野 恵利 祐司(新町)
 杉山 翔 和久(高之口)
 丸山 梨奈 忠司(大丸)
 石澤 仁美 英規(折口東)
 山迫 美緒 順一(折口東)
 尾崎 太志 隆雄(大丸)

松崎 達徳 浩幸(古里)
 齊藤 郁美 真二(梔)
 宮内 俊介 和美(牧内)
 田中 大地 精一郎(倉津)
 中村 美珠 希雄二(新町)
 倉津 俊希 敏二(倉津)
 山下 舞 弘信(新町)
 牛ノ濱めぐみ 昭広(牛之浜)
 福蘭 未奈美 増郎(波留)
 奥平 綾香 波留(波留)
 平石 麻衣 広志(高松)
 前田 弘太 芳和(牧内)
 石原 由士 善和(松ヶ根)
 倉津 智貴 康彦(倉津)
 牟田 和也 学(陳之尾)
 平田 晶菜 誠(横手)

「はばたけ青少年の旅」参加者募集

県では、平成5年度の次の事業の参加者を募集します。事業では、青少年が自分たちでテーマを設定し、そのテーマに沿って、自分たちで旅研修を行っていきます。

【はばたけ青少年の旅】

- ◇実施時期 7月24日から30日まで7日間
- ◇訪問先 北部九州・四国・中国・近畿・岐阜
- ◇募集人員 チーム単位(6人)で、12チーム募集(総数72人) チーム構成(青年1、高校生1、中学生2、小学生2)
- ◇募集期間 4月15日から5月14日

【世界へはばたけ 鹿児島島の青年】

- ◇実施時期 11月2日から13日まで12日間
- ◇訪問先 ジョージア州を中心とするアメリカ合衆国
- ◇募集人員 10名
- ◇募集期間 4月15日から5月28日

※詳しくは、県青少年女性課(☎0992-22-9542)まで

山平 千帆 義浩(黒之浜)
 山下 優亮 伸二(牛之浜)
 山下 宏亮 伸二(牛之浜)
 児玉 光希 春美(上桑)
 倉津 智恵 義一(倉津)
 飛松 拓馬 修二(波留)

給油所の日曜当番店

- 3月21日
 マルハ商事(湯) ☎15555
 池上石油(新町) ☎0807
- 3月28日
 阿久根石油(港町) ☎2430
 高原石油(長谷) ☎2598
- 4月4日
 築瀬石油(赤瀬川) ☎1093
 阿久根石油(塩津) ☎0389
- 4月11日
 南国殖産(鶴見町) ☎0362
 マルハ商事(塩津) ☎0688
- 4月18日
 寺下石油(橋之西) ☎2077
 上藤石油(大曲) ☎1771

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

※敬称略

- 平国富義(長野) 樽木リキ(東郷町) 小野重則(大尾) 吉村嘉子(町) 大田高德(尻無下)

ごめい、ふくを お祈りします

※敬称略

死亡者 葬(区名)
 小田 ワチ 83(新町) 喜左衛門
 吉川 龍 84(上野) 松井でる
 倉津 徳次郎 75(倉津) ミツヨ
 野村 サト 81(大谷) 義友
 赤坂 藤吉 92(下桑) ミエ
 中園 實 54(横手) 久美
 林 直以 85(波留) 卓哉
 宮田 エタ 97(波留) 正行
 榎木 盛人 74(深田) リキ
 慶越 實 81(永田上) 實廣
 林 七郎 91(大丸) 勝次郎
 東新小次郎 95(牟田) 一雄
 倉津 仁助 58(倉津) ナツエ
 福永 次雄 64(上桑) イク

野村 忠義(黒之浜) 倉津ミツヨ(倉津) 牛之浜悦子(牛之浜) 赤坂ミエ(下桑) 倉津ヨシ(倉津) 餅井弘志(駒馬場) 上園リツ(高松) 野村義友(大谷) 中園久美(横手) 徳田真弓(新町) 黒神ミチ(波留)

西野 ナツエ 84(上野) 勝男
 築瀬 キサノ 94(米次) 隆徳
 寺地 エイノ 81(尻無下) 穂
 白濱 信彦 73(新町) 實治
 鶴岡 小平 93(尻無中) 要
 山崎 ツル 78(長野) 北川初穂
 松下 シノ 90(上野) 保則
 松田 アサノ 86(浦) 篤雄
 大田 暎義 59(尻無中) 春美
 石坂 シツ 85(波留) 忠二
 柏木 正豊 66(筒田) カナミ
 寺地 西雄 74(井手下) ハル子
 中尾 政義 71(内田) サナエ
 黒神 良人 79(波留) ミチ子
 園田 貞義 97(下桑) 西平孝志
 田中 和子 65(新町) 徳田真弓
 寺地 アチエ 82(尻無下) 正郷
 宮原 正義 84(牛之浜) 牟礼一枝

篤志寄付

広報紙送付のお礼として、波留区の竹中宏文さんより寄付をいただきました。ありがとうございました。

相談

- ▼年金(市役所)
 3月19日(金) 10時~16時
 4月20日(火)
- ▼税金(商工会議所)
 3月22日(月) 10時~15時
 4月20日(火)
- ▼交通事故(市役所)
 4月8日(木) 9時30分~16時
 5月13日(木)

あなたも弓道を やってみませんか!

— 弓道教室 参加者募集!! —



阿久根市弓道会では現在、下は中学生から、上は86歳の方まで老若男女、毎日楽しく練習に励んでいます。

本会では、年間を通じて、初心者の方の指導を行ってまいりましたが、この度、広く市民の皆さんに日本古来の武道文化に接してもらうため、次の要領で弓道教室を開講することにしました。

市民の皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

◇期 間 平成5年4月～6月
毎週水・金曜日

◇時 間 夜7時30分～9時30分

◇場 所 総合運動公園内弓道場

◇服 装 軽い体操のできる運動着

◇募集人員 学生を除く一般男女20名

◇申し込み先

教育委員会社会体育課 (☎73-4649) 又は阿久根市弓道会事務局 (☎72-1808石澤進) まで

◇締め切り 3月25日(木)

※定員になり次第、締め切ります。

在宅医さん

- 3月20日(春分の日)
 - 植村整形外科 ☎1041 (段)
 - 脇本病院 ☎2121 (橋之西)
 - 3月21日
 - 有村産婦人科内科 ☎4180 (上野)
 - 3月28日
 - 上園医院 ☎1055 (本町)
 - 4月4日
 - 内山病院 ☎1551 (高松)
 - 黒木医院 ☎0200 (下村)
 - 4月11日
 - 喜多医院 ☎0038 (大丸)
 - 4月18日
 - 門松医院 ☎0553 (鶴見町)
 - 4月25日
 - 北国医院 ☎0016 (本町)
 - 4月29日(みどりの日)
 - 林胃腸科外科 ☎3639 (大丸)
- ※救急の場合、市民病院はいつでも対応します。

自動車税

マイカーの登録手続きをお忘れなく
納期限5月31日(軽自動車税は4月30日)

軽自動車税

自動車税等は毎年四月一日現在で陸運支局(軽自動車等は軽自動車協会)に登録されている車の所有者(使用者)に課税され、毎年五月三十一日(軽自動車等は四月三十日)が納期限となっています。

自動車税を他人に譲ったり下取りに出しても、移転登録や変更登録が済んでいない場合や、スクラップ(廃車)にしても、抹消登録が済んでいない場合はいつまでも登録上の名義人に税金

がかかってくるようになります。このようなことを無くすために、登録手続きの必要な方は、早めに済ませましょう。

※軽自動車税について
軽自動車税は、四月一日現在に所有者に課税されます。

例えば平成五年四月二日以降に車を所有した場合は、五年度分の税金はかかりませんが、同日以降に廃車などした場合、その車の五年度分の税金は全額納めていただくことになり

ます。また、小型特殊自動車及び一二五CC以下の原付は市税務課で登録できます。自動車税についての問い合わせは、川内総務事務所(☎0996235151)又は、県自動車税管理事務所(☎099265611)まで。また軽自動車税については、市役所税務課(☎1211)まで。



この税金あなたの税がいてる

世界保健デー 4月7日

ハートビート——それはあなたの健康リズム



ワンちゃんの ひきとり

3月23日
4月6日・15日・27日
10時から10時30分
出水保健所から保健センターにひきとりにきます。

戦後強制抑留者の皆様へ

—請求はお済みですか—

平和記念事業特別基金(総理府所管の認可法人)では、戦後強制抑留者、いわゆる恩給欠格者、引揚者、またはそのご遺族に慰労品(内閣総理大臣名の書状及び銀杯等)を贈呈しています。

戦後強制抑留者関係の贈呈事業については、請求期限が平成5年3月31日までと迫っておりますので、早めに請求してください。

戦後強制抑留者の皆様へ

戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留された方またはそのご遺族に、内閣総理大臣名の書状・銀杯を贈呈しています。このうち年金恩給など受給されていない方には、併せて慰労金として10万円の国債が支給されます。

恩給欠格者の皆様へ

軍歴期間が短いため年金恩給を受けられない、いわゆる恩給欠格者の方で、外地等の勤務経験があり、加算年を含めた在職年が3年以上の方に内閣総理大臣名の書状を、このうち70歳以上の方には高齢者の順に併せて銀杯等を贈呈しています。

引揚者の皆様へ

先の大戦の終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてこられた方で、「引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律」による特別交付金を受給された方に、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。(齒舞、色丹、国後、択捉の各島からの引揚者を含みます)。

◎請求書類は、市役所福祉事務所社会係(☎73-1211 内線1411)にあります。

労働保険の 年度更新について

事業主のみならず、今年も労働保険の平成五年度概算保険料並びに平成四年度確定保険料の申告、納付の時期になりました。川内労働基準監督署では、次の日程で手続き要領の説明会並びに申告書の集合受付を行います。

▼説明会
日時 4月15日 10時～12時
場所 市民会館第一会議室

▼集合受付

日時 5月7日 10時～15時
場所 市民会館第一会議室
なお会場で提出できない場合は、申告書の提出及び保険料納付期限である5月17日までに労働基準監督署、金融機関(日本銀行歳入代理店)又は郵便局へ保険料を添えて提出してください。
ただし、金融機関や郵便局では申告書と納付書だけしか受付しませんので、その他の添付書類は川内労働基準監督署あてに送付してください。
その他詳しくは、次までお問

灰塚供養は 3月30日です

平成4年3月27日から今年3月29日までの間に、市火葬場で火葬を行った方々のご冥福をお祈りするため、灰塚供養が行われます。

◇日時
平成5年3月30日(火)

い合わせください。

川内労働基準監督署
〒895 川内市若葉町4番
24号 ☎0996(2)3225

人口

3月1日現在()内は前月比	
人口	28,247人 (-3)
男	13,096人 (-5)
女	15,151人 (+2)
世帯数	10,383戸 (-12)
出生	28人
死亡	30人
転入	68人
転出	55人

午前10時、市火葬場
◇場所
※火葬についてのお願い
メガネ、ドライアイス、ガラス、ビン、陶器等の納棺はご遠慮ください。

大工・左官の賃金

日額 責任者 16,000円 技能者 15,000円

出水地区東部西部工友会では、この程大工・左官の賃金を責任者は日額16,000円、技能者は15,000円と改定し、平成5年4月1日から実施します。

なお、満65歳以上の方については、その人の技能に応じ、その限りではないとなっています。

ただし、工友会員に限ります。



人物写真を撮るのは難しいもの。特に白黒写真の場合、明暗のコントラストが写真の出来を左右するため光の強さや方向が気にかかります。冬は曇りの日が多く、写真全体が暗く感じられ、逆に夏は日光が強すぎて、屋外では髪の毛の影なども注意が必要です。また撮影の時、一番苦労するのは、相手にいかにニコリと豊かな表情を出してもらうかです。これから春、柔らかな光の季節は写真撮影にも適した時期です。カメラを向けられたらぜひ、あなたのベストスマイルをお願いします。(責)